

ホスピタリティコート hospitalityC&urt

メディカルコート八戸西病院広報誌 TAKE FREE

《地域医療フォーラム》

これからの時代は
在宅医療ですよ。

八戸ファミリークリニック 院長 小倉 和也さん
シルバークリニック 院長 井岡 真基さん

連載：社長の健康メッセージ

「継続すれば実になる、そこから考えればいい。」

八戸通運株式会社 代表取締役社長 田中 信明さん

働くママを応援しよう！ wonderful working woman / チャレンジ改善委員会

もっと開こう、地域へ OPEN HOSPITAL / 地域医療のネットワークをご紹介します HOSPITALITY NETWORK

ふるさとの味と栄養と / Information / イベントスケジュール

地域医療フォーラム

これからの時代は
在宅医療ですね。はちのへファミリークリニック 院長
小倉 和也 さんシルバークリニック 院長
井岡 真基 さん

急速に高齢化が進行する日本では、2025年以降約八百万人の団塊の世代が75歳以上となります。超高齢化社会に対応するため、在宅医療の立場で日々奮闘するはちのへファミリークリニックの小倉和也院長と、シルバークリニックの井岡真基院長に対談していただきました。

はちのへファミリークリニック
院長 小倉 和也さん

1972年生まれ。八戸市出身。
2010年に全国でも珍しい家庭医療の医院を八戸市で開業。国際基督教大、琉球大医学部卒。

シルバークリニック
院長 井岡 真基さん

1959年生まれ。奈良県出身。
メディカルコート八戸西病院・高橋通宏病院長と縁あって2000年から八戸で勤務。京都大学、関西医科大学卒。

1. 小倉院長は「家庭医」として、内科、小児科の外来と共に在宅医療を行っています。子どもからお年寄りまでトータルで診療し、地域全体見据えた医療に取り組んでいます。

2. 井岡院長は外来診療に加え、在宅と施設を回る訪問診療にも携わっています。高齢者は認知症のほかに高血圧や糖尿病を併発していることが多く、幅広い診療能力が問われます。

在宅医療のニーズ大きく

——普段の仕事の内容と、課題だと考える部分を教えてください。

井岡 外来診療も行っていますが、主に在宅と施設を回って訪問診療しています。私の場合、在宅医療は予防が大切だと考えていて、もちろん初期治療は行いますが必要時は病院に紹介する形を取っています。課題は24時間対応です。まれに出張時に非常勤の医師に頼む時がありますが、基本的に365日休みがありません。息の長い診療を続けるためにはその辺が今の在宅医療の一番の問題だと思います。

小倉 私は内科、小児科の外来と在宅医療を行っています。在宅医療の仕事は診療全体の3分の1と考えているのですが、どうしてもバランスが取れません。ニーズが非常に大きく、ほかの診療を圧迫してきているからです。本来ならば、家庭医として子どもからお年寄りまでトータルで診て、地域全体をできるだけサポートする仕事をしたいのですが、今後在宅医療のニーズにどう対応すればいいか悩んでいます。

八戸地域の可能性

——このような問題を解決するために必要なことは何でしょうか。

井岡 医療資源をどう配分するかでは限界があり、大きくすることもあるべきです。在宅医療を診療報酬や介護報酬でより優遇すれば取り組み人たちが増えます。医療費全体を削減したい国の意向は十分理解できますが、在宅医療を進めていくためには必要です。

小倉 今ある医療資源をより有効に活用するためには、在宅医療とそれにかかわる事業所がコミュニケーションを取って連携できる体制を作ることが大事です。連携がうまくいけば医療・介護関係者が助かるだけでなく、何より患者さんと家族のためになります。

——関係機関が連携するためにはどんなことが大事になりますか？

小倉 私は、コネクト8という在宅医療に関わる多職種の医療・介護機関が情報を共有して患者と家族を支える活動を展開しています。活動で分かったことは、連携するためには「日常的な情報共有」と「顔と腹の見える関係の構築」が

「ツトワーク」のイベントが開かれると聞きました。

小倉 このNPOは22年前から、おそらく日本で初めて地域包括ケアシステムや地域共生社会の創出を目指して、多職種の医療・介護関係者が開設した団体です。全国各地で展開されているコネクト8のような活動に携わる関係者が参加し、お互いのいいところを学び合う大会が、10月8日、9日、八戸市で開かれます。医療・介護関係者のみならず、広く市民に来場して頂き、在宅医療への理解を深めてもらう大切な機会にしたいです。

——市民の理解が重要な理由を教えてください。

小倉 将来的に自分が、在宅医療を含めた地域包括ケアシステムに支えられることは、私を含めて誰にでも起こり得ることです。決して他人事ではありません。市民が必要性を理解して機運を高め、地域の将来を作る上で非常に重要なことだと考えています。

——本日はお忙しいところ対談いただきありがとうございます。

継続すれば実になる、
そこから考えればいい。



社長の健康メッセージ

リーダーの人生は健康メソッドの宝庫だ。

vol.9

八戸通運株式会社

代表取締役社長 田中 信明 さん

profile: 1949年生まれ。青森県八戸市出身。法政大学経営学部卒業。1972年八戸通運株式会社入社。2009年同社代表取締役社長就任。公益社団法人全国通運連盟副会長。

時代の流れに対応

創業74年の古い会社です。元々は鉄道輸送に絡んだ陸運部の売上が圧倒的でしたが、八戸が新産業都市の指定を受けて進出した企業の工場内に営業所を置き、仕事を頂いて作業する現業部の売上がどんどん上がり、会社を成長させました。ただ、当時の稼ぎ頭だった企業は、安価な海外勢に押されて規模を縮小し今では微々たる生産になりました。これに対応してわが社も、その企業内の営業所出張所にする機構改革を実施しました。時代の流れを感じます。

私が社長に就任して取り組んだのは、各営業所の環境改善です。昔は和式トイレの古い事務所建て替えを進めました。今は昔の建物はほとんどありません。定年退職されたOBの方々から「昔と随分変わったなあ」とよく言われます。

国体スピードスケートで優勝

子どもの頃は本当に暴れん坊でした。学校から帰るとかばんを放り投げてすぐに遊びに行つて、けんかして、家に帰ると怒られて頭をたたかれる毎日です。勉強はほとんどせずに遊んで過ごしていました。

学生時代にはスピードスケートを一生

訣かもしれません。ただ、酒量はおそらく人の3倍は飲んでいます。早く帰ってもピッチはもっと速いからです。

運動と言えば、休みの日には歩いています。月に1回程度ですが、一度歩き始めれば止まらなくて5〜6時間、八戸の端から端まで歩きます。街中で飲み会がある時も自宅から歩いて向かいます。少し疲れますが、それでお酒がさらにおいしくなります。

食事は何でも食べます。カルビの焼肉を食べても胸焼けはしません。野菜は心掛けて食べるようにしていて、家内も常にとくさん出してくれます。治療はしましたが虫歯はゼロで歯茎も大丈夫。本当に丈夫な体をもったと、親に感謝しています。

継続は力なり

会社は労働集約型産業なので、人が動いてこそ初めて売り上げになります。だから人が一番、従業員が一番です。特殊な仕事もあるため難しい面もありますが、適正人員を確保して1人が無理することのない仕事にしようと努めています。

人口減少社会の今、物流の取扱量も減る時代です。新規事業は何であれなかなかうまくいく環境ではありません。最近、

懸命やりました。大学生の時には全日本選抜に選ばれ、国体で優勝したこともあります。4年間寮生活だったので、朝と夜の食事は自炊です。ご飯を炊いてみそ汁を作り、総菜屋さんで買ったコロツケかメンチカツを付けますが、キャベツだけは欠かさないようにしていました。実際は、昼の学食でカツ丼やラーメンをたくさん食べて栄養補給をしていましたが。

59歳で膀胱がん

実は、59歳の時に膀胱がんになりました。5月に株主総会で社長に就任した年の夏に発覚しました。超音波検査してもらったところ「すぐに医者に行きなさい」と言われたので、市内の泌尿器科で受診

し、内視鏡手術をしてもらいました。あれから7年間が経過し、主治医の先生からも「もうセーフです」と言われています。主治医の先生はとても面白い方で、今はお友達感覚です。いつも健診の結果を見てもらっていますし、「社長、肝機能の数値が結構上がっているぞ。体を大事にしないと。従業員もいるんだし、きちっと治療するべし」と諭されています。

20年以上毎日朝風呂

健康のため気を付けていることは特にありませんが、20年以上毎日のように朝風呂に入っています。午前4時半に起きなければならぬので、会合があっても夜10時には必ず帰ります。これが健康の秘



1971年八戸国体の1,500mスピードスケート競技で優勝。華麗なフォームでリンクを快走する当時21歳の田中信明社長(右)。この頃から毎日キャベツをたくさん食べており、今でも野菜摂取を心掛けている。

めいけん改善プロジェクト

もっと向上できる、ホスピタリティ。

チャレンジ 改善委員会

めいけん改善プロジェクト

サービス、医療安全、感染対策などをホスピタリティ目線で改善するプロジェクト展開中です。



お待たせしない ナースコール対応プロジェクト



緊急時には看護師の速やかな対応が求められます。患者様と看護師を繋ぐナースコール。チーム間でお互いに声を掛け合うことが迅速な対応に繋がっています。

医療現場で常に課題にあげられる「待ち時間」。当院では患者様からのお声を受け、「お待たせしないナースコール対応」として、看護部全体で改善に取り組みました。各部署で毎週、自分たちの行動を振り返り、対応策を立て、実行し、評価する、という一連の流れを3か月間繰り返しました。その結果、迅速な対応をするためのスタッフ間の協力的体制強化、ナースコール前に要望を把握し行動できるような患者様へ声掛けを積極的に行うなど、患者サービスに対する全体の意識向上につながりました。今後も振り返る機会を定期的に設け、お待たせしない、気持ちの良いナースコール対応を心掛けて参ります。



どなたでも、効率よく 洗浄できるハンドソープに一新



安定感があって押しやすく、無香料タイプなので匂いが気になる方もご使用いただけます。

院内の手洗い箇所に設置しているジェル状ハンドソープを泡状ハンドソープへ変更しました。手洗い時の肌の摩擦を抑えながら汚れをしっかりと落とし、すずぎ性にも優れています。手洗い、手指消毒を行う手指衛生は全ての医療行為の基本。当院ではハンドソープを設置している全箇所に、どなたでも分かりやすいイラストで作成した「手洗い手順マニュアル」も掲示し、正しい手洗い方法を周知しています。また、手洗い後の洗いを残しをチェック出来る手洗い検査マシンを導入し、各種イベント時に地域の方々へ体験していただいています。感染症の予防になる手洗いを楽しみながら皆様に励行していただければと思います。

働くママを応援しよう！

当院では女性の子育てと仕事の両立をサポートしています。出産・育児後の職場復帰率が高く、ワーキングママならではのリアルエピソードをご紹介します。

wonderful
working
woman



短時間勤務で育児と両立できてます。

2月末から復帰しました。産休直前まで勤務していた病棟に配属になる事を聞き、ホッとしつつ不安も。復帰当日に師長をはじめスタッフから「おかえり」と声をかけてもらい、不安が和らぎました。育児のため短時間勤務とさせてもらっていますが、夕方の介護指導や処置など、嫌な顔一つせずに引き受けてくれて、毎日感謝感謝です。最近、やっと休んでいた1年分の感覚を取り戻すことができ、頼れるスタッフがいてくれるので、気持ちを切り替えて、仕事と子育ての両立ができています。

2009年4月	入社
2013年7月	結婚
2016年1月	産休取得～出産
2017年2月	職場復帰～育児中

勤務調整に感謝！

初めての出産を控えています。3ヶ月ほど夜勤やオムツ交換免除などの勤務調整をしていただき、無理なく業務に携われました。頼りないリーダーでしたが、先輩ママはじめ優しいスタッフに助けていただき、3月31日から産休に入ります。

2012年4月	入社
2015年7月	結婚
2017年4月	出産予定 (3月31日より産休取得)



※2017年3月末の取材時の内容です。

地域医療のネットワークをご紹介します。

HOSPITALITY NETWORK



住み慣れた地域で質の高い医療サービスを安心して受けられる生活には
医療、保健、介護、福祉のネットワークが不可欠です。



先進の設備環境と地域に根ざしたリハビリ体制 介護老人保健施設 しもだ

最新のリハビリ支援ロボット「免荷式リフトPOPPO」「Honda歩行アシスト」を使い、歩けるようになりたい、少しでも良くなりたいという利用者様の思いに、専門スタッフが個別リハビリで応えています。

農家の方が多いため、園芸療法にも力を入れ、畑の土作りから行ったひまわり栽培や苗代から稲刈りまでバケツを使った米作りが喜ばれています。季節を感じながら時間と手間をかけて行う園芸療法は、利用者様の心の充実に効果的なこと。

また、充実したリハビリ環境づくりのための、看護師や介護職のリハビリ研修などの取組みが実り、平成27年度で年間継続利用された方の介護度改善率は16%になり、全国平均を10%上回る結果を達成しました。先進リハビリ設備の充実と地域に根ざした職員一丸となったリハビリ体制は、利用者様やご家族との強い信頼関係で結ばれています。



DATA

介護老人保健施設 しもだ

〒039-2153 青森県上北郡おいらせ町山崎2592番地7
TEL.0178-56-4888 FAX.0178-56-4886
<http://www.sg-shimoda.org/>

もっと開こう、地域へ。

OPEN
HOSPITAL

オープンホスピタル

八戸看護専門学校

地域の医療実習生や職場体験の受入れに
私たちは積極的に取り組んでいます。



看護師を目指すうえで 具体的な目標ができました

1月23日～2月3日、八戸看護専門学校の臨地実習が当院4階、6階病棟で行われました。

実習では、患者様とその家族への看護を通して、退院後の生活を考慮した個別的な看護を展開し、さらに多職種との関わりなどの学びをねらいとしており、学生が主体的に学べるような環境作りと実習指導をしています。

実習を終えた2年生の川向あきさんは「病院での生活だけでなく、ご家族の介護力や社会資源・サービスなどから退院の方向性を考え、継続したケアを提供するために多職種との連携が不可欠であると学びました。」と、充実の体験を振り返っていました。

同じく2年生の松野桃子さんは「加齢現象と疾患が身体に及ぼす影響について理解することができたと同時に、合併



症や二次障害を予防する援助の必要性を改めて感じさせられました。今後の実習に活かしていきたいと思います。」と、看護師を目指すうえで大きな目標を設定できたという感想をいただきました。



学生間で、自分が学んだことや疑問に思うことなどをディスカッションしたり、学生指導の看護師や学校の先生にアドバイスをもらっています。

column

看護師として元気に卒業！

厳しくも充実した実習を経て、八戸看護専門学校の25期生が看護師として卒業しました。謝恩会では、列席者への感謝の気持ちを込め、先輩から引き継がれた華やかな衣装に身を包んで「よさこいソーラン」を披露しました。



寝たきりの方で、痰が出にくい方への吸入中。呼吸状態を観察しながら行います。

足浴は、清潔にして爽快感を得るだけでなく、リラクゼーション効果やコミュニケーションの場にもなります。

i Information

■ 新人技術披露会を開催しました

2月25日、新人看護師の技術披露会を開催しました。1年間の成果のまとめとして、急変時の対応、入院の流れ等について先輩看護師と一緒に皆の前で実技を披露。発表後は質問やアドバイスなど積極的な意見交換が行われ、有意義な研修となりました。



■ 女性の健康週間 女性の健診キャンペーン 「たむかい保健室」を開催しました

3月10日、イオン八戸田向店にて「たむかい保健室」を開催しました。女性の健康診断や受診に関する相談、乳がんの自己検診のおすすめ、血糖自己測定検査や食事診断をもとにした栄養アドバイスなど、いずれも大好評で、前回の「はくさんだい保健室」同様、活動奨励のお言葉をたくさんいただきました。



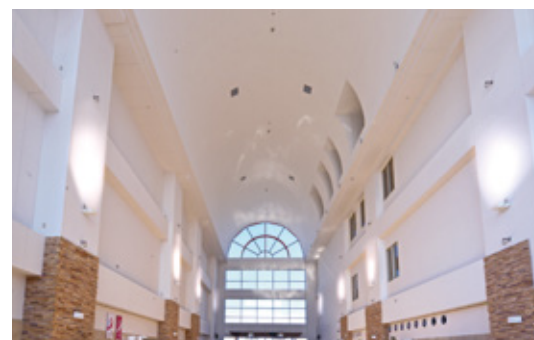
■ SR会主催 転倒予防対策の講演会が 開催されました

3月8日、当法人のご支援、ご賛同企業で構成されているSR会主催の医療講演会が開催されました。今回は、二王子温泉クリニック院長の古賀良生先生をお招きして「転倒予防対策～ロコモティブシンドロームの真実」をテーマにご講演いただきました。



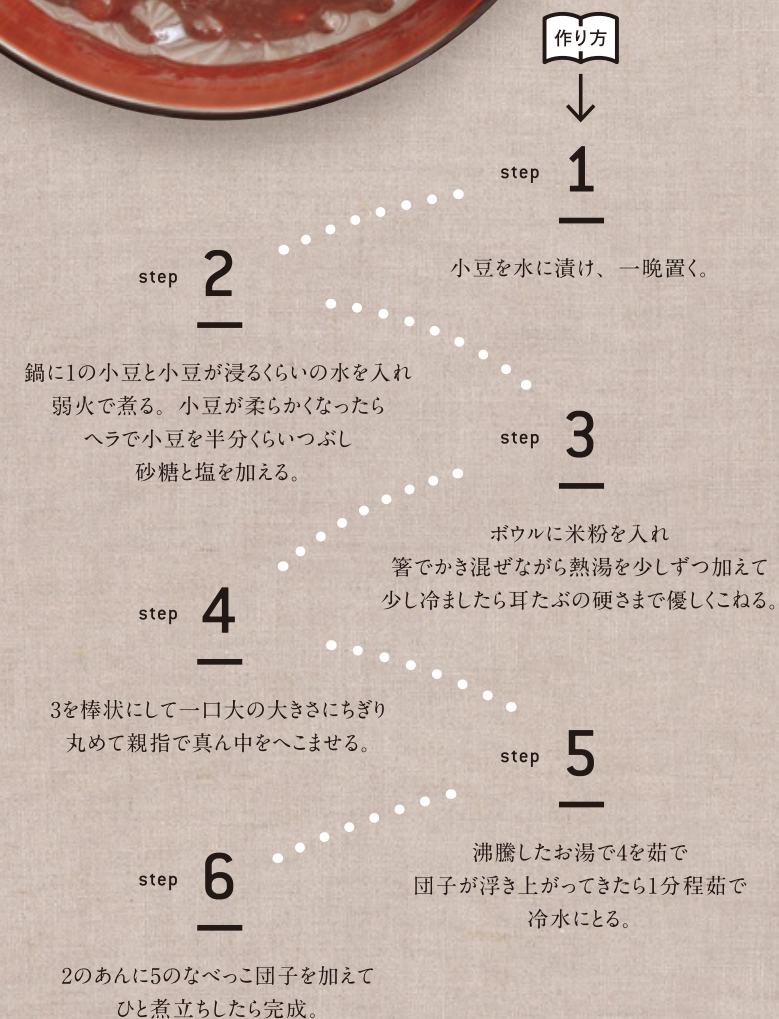
■ 時刻合わせの音楽が鳴ります

医療の現場では、正確な時間・順序で記録する事が求められます。また、医療機器安全管理の上でも時刻合わせは非常に重要です。当院では毎月10日、9時・13時・16時の3回、全館に音楽を流し、時計の時刻合わせを定期的 to 実施しています。



なべっこ団子

南部地方で愛されている懐かしの味。
真ん中をへこませた鍋の形に似ているから「なべっこ団子」、おへその形に似ているから「へちまこ団子」など、いろいろな呼び名、理由も諸説あるようです。
この「へこみ」には、団子に火が通りやすくなる、あんこが絡みやすくなるなどの昔の知恵が生かされています。団子づくりでは、強くこねると硬い団子になってしまうので、優しくこねて、やわらかく美味しい団子に仕上げましょう。



材料 (5人分)

- 米粉・・・100g
- 熱湯・・・100ml
- 小豆・・・100g
- 砂糖・・・50g
- 塩・・・5g

調理時間
およそ30分
できますよ。



profile
1990年青森県八戸市生まれ。有料老人ホーム 妙水苑の栄養科 栄養士。栄養士、栄養教諭2種などの資格を持ち、献立作成、調理指導、栄養管理の業務に従事。仕事での楽しみは、イベント時、入居者様と一緒に調理すること。



サポニンで
美しく健やかに

小豆の外皮には「小豆サポニン」という成分が豊富に含まれています。サポニンには、利尿効果、便通の促進効果があり、強い抗酸化作用もあるので血液中のコレステロールや中性脂肪を低下させる働きも持っています。茹でこぼすと、サポニンの薬効まで流れてしまうので、料理の際にはアクを取る程度にするのがポイントです。ゆで汁ごと利用するこの料理は、小豆の栄養を余すことなく摂取できます。

〈栄養価〉エネルギー:181kcal 蛋白質:5.3g 脂質:0.5g 塩分:1.0g (1人分)

Event イベントスケジュール

5月12日(金)	12:45～13:15	アフタヌーンコンサート フルート奏者 片峰日出男氏	交流ホール	当日自由参加
5月13日(土)	10:00～13:00	看護の日イベント 看護の心をみんなの心に	交流ホール	当日自由参加
5月24日(水)	13:00～14:00	糖尿病教室 食事療法 応用編(管理栄養士)	交流ホール	当日自由参加
5月30日(火)	12:45～13:15	京舞 京都お茶屋の舞妓による舞ご披露	交流ホール	当日自由参加
6月16日(金)	12:45～13:15	アフタヌーンコンサート すみれ会大正琴コンサート	交流ホール	当日自由参加
6月28日(水)	13:00～14:00	糖尿病教室 さあ始めよう! 運動療法(理学療法士)	交流ホール	当日自由参加
7月20日(木)	12:45～13:15	アフタヌーンコンサート WMS(職員有志バンド)	交流ホール	当日自由参加
7月26日(水)	13:00～14:00	糖尿病教室 これで安心! 糖尿病生活(看護師)	交流ホール	当日自由参加
7月29日(土)	11:00～14:00	病院見学会 平成30年度新卒者対象 職種: 看護師、保健師、理学療法士、作業療法士 言語聴覚士、検査技師、放射線技師ほか ※詳細は下記 HPをご覧ください	各部署	要事前申込 (担当: 事務部 藤川)

どなたでも無料観覧できる 「アフタヌーンコンサート」開催中です

当院1F交流ホールでは、月に一度程度、午後12時45分から「アフタヌーンコンサート」を開催しています。地元演奏家などによるクラシックや郷土芸能など、どなたでも無料で楽しみいただける内容です。自然光が心地よく降り注ぐ吹抜け空間で、心穏やかになるパフォーマンスをご堪能ください。



当院職員有志はじめ特別ゲストをお迎えしてのクラシックコンサート、地元北陵中学校のえんぶりクラブによる郷土芸能「えんぶり」の披露など、季節やテーマに合わせた多彩なプログラムをご用意しております。

Note 編集ノート

眺めの良い5階と6階に 和洋タイプが選べる特別室ができました

当院5階病棟に1部屋(和風タイプ)、6階病棟に2部屋(和風タイプ、洋風タイプ)ができました。それぞれに素敵な家具を配置し、また和風タイプには畳スペースもあり、患者様はじめご家族の方も快適に過ごせる空間です。表紙写真の笑顔の担当者・病棟スタッフがご案内いたしますのでお気軽にお問合せください。



写真は、日当たりの良い6F病棟の和風タイプ特別室「Kiku 菊」。
畳スペースもあり、お部屋の広さと眺望の素晴らしさも魅力です。